

横浜市教育委員会 定例会会議録

- 1 日 時 平成22年4月13日（火）午前10時00分
- 2 場 所 教育委員会会議室
- 3 出席委員 今田委員長 小濱委員 吉備委員
中里委員 野木委員 山田委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 議事日程 別紙のとおり
- 6 議事次第 別紙のとおり

教 育 委 員 会 定 例 会 議 事 日 程

平成22年4月13日（火）午前10時00分

- 1 会議録の承認
- 2 教育長一般報告・その他報告事項
平成21年度教育委員会運営方針期末振り返りについて ほか
- 3 報告案件
教委報第1号議案 横浜市立高等学校授業料等徴収条例の一部改正等に関する
臨時代理報告について
教委報第2号議案 横浜市立図書館規則等の一部改正に関する臨時代理報告
について
教委報第3号議案 横浜市教育委員会職員の勤務時間等に関する規程の
一部改正に関する臨時代理報告について
教委報第4号議案 県費負担学校職員の勤務時間の割振り等に関する規程の
一部改正に関する臨時代理報告について
- 4 審議案件
教委第2号議案 横浜市立小学校及び横浜市立中学校の通学区域並びに
就学すべき学校の指定に関する規則の一部改正について
- 5 その他

[開会時刻：午前10時00分]

～傍聴人入室～

今田委員長

ただいまから、教育委員会定例会を開催いたします。
はじめに、4月1日付で教育委員会事務局の経営責任職の異動がありましたが、4月9日に開催されました、市会常任委員会で、既に紹介されておりますので、割愛させていただきます。
次に、会議録の承認を行います。前回、平成22年4月1日の会議録署名者は吉備委員と私です。会議録につきましては、すでにお手元に送付してございますが、字句の訂正を除き、承認してよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

今田委員長

それでは、承認いたします。なお、字句の訂正がございましたら、後ほど事務局までお伝えください。次に、議事日程に従い、教育長から一般報告をお願いします。

山田教育長

【教育長一般報告】

1 市会関係

- 3/24 予算第一・予算第二特別委員会連合審査会（総合審査）
- 3/25 予算第一特別委員会（採決）
- 3/26 本会議（第5日）予算議決（教育委員 人事議案）
- 4/9 こども青少年・教育委員会

2 市教委関係

（1）主な会議等

- 3/31 学校管理職辞令交付式・訓示式
- 4/1 横浜市立学校新規採用等教職員辞令交付式
- 4/2 全体校長会議（教育文化ホール）
- 4/10 よこはま教師塾第四期生 入塾式（教育文化ホール）

（2）報告事項

- 平成21年度教育委員会運営方針期末振り返りについて
- 横浜サイエンスフロンティア高校の「スーパーサイエンスハイスクール」指定について

3 その他

今田委員長

教育長の報告が終了しましたが、ご質問等ございますか。
特にご質問等がなければ、先程、教育長より、別途所管課から説明とありました「平成21年度教育委員会運営方針期末振り返り」について説明をお願いします。

池尻教育政策
推進室長

【「平成21年度教育委員会運営方針期末振り返り」について説明】

今田委員長

所管課から説明が終了しましたが、ご質問等ございますか。

小濱委員 16ページの「いじめ・暴力問題」についてですが、目標に研修会の回数を増やすことなどが掲げられており、回数が上回ったからB評価となっていますが、目標設定に踏み込みが足りないと思います。現場で起きていることにどれだけ踏み込んでいくか、そういうものを目標として出していくべきだと思います。
同ページの「不登校対策」も同様で、ハンドブックを配ることだけでは、目標としては足りないと思います。

池尻教育政策推進室長 目標の立て方ですが、中長期的な目標にはアウトカム指標を立て、運営方針などの単年度のものについては、アウトプット指標を立てるという考え方でいい、その指標について評価を行いました。

小濱委員 単年度の運営方針と中長期的な目標につながりはあるのでしょうか。内容を深めていくことが大事だと思いますが、いかがですか。

池尻教育政策推進室長 5カ年計画である教育ビジョン推進プログラムでは、不登校対策につきましては、不登校の児童・生徒を減少させていくことを目標に掲げていますが、現状は横ばい状態であります。

小濱委員 今年度の「いじめ・暴力問題」の目標設定はされているのでしょうか。

池尻教育政策推進室長 今後ご相談させていただきたいと考えております。

中里委員 各校でも素晴らしい取組をしています。各校のノウハウを学校も伝える努力を、そして事務局も伝えるシステムを検討していただきたいと思います。何事も継続が大事です。携帯電話のフィルタリングの取組も緩めてしまうとだめだと思います。
13ページの「親の学び」についてですが、評価はD評価になっています。どの学校でも家庭教育学級などとしてPTAなどが工夫して取り組んでいる学校の方が多いと思います。取り組んでいることはそれぞれ値打ちのあるものです。予算がついているかの有無にかかわらず、とりあげていただきたいと思います。

池尻教育政策推進室長 各校の良い取組については、優秀教育実践校表彰などを行い、YCAN（庁内情報ネットワーク）で紹介しています。

中里委員 表紙に「職員一人ひとりの本気の力を結集し…」とありますが、職員はいつも本気で取り組んでいると思います。表現に違和感を覚えます。次年度には言葉を変えてみてはどうでしょうか。

吉備委員 5月に行う平成22年度の運営方針の作成に向けて考えていただきたいことは、それぞれの項目に書かれている「■課題」はここに書かれているものだけだろうかということです。4月に入り、また新たに違った課題が出ているのではないかと思います。課題のとらえ方に興味があります。
また、局内の横断プロジェクトの取組、「良くするプロジェクト」は非常に良かったと思いますが、新しい体制となり、平成22年度も「良くするプロジェクト」は継続されますでしょうか。

池尻教育政策推進室長	平成22年度の運営方針は、全区局統一の様式で作成することに変更になりました。今後、内容についてはご相談させていただきます。 良くするプロジェクトは今年度は予定されておりませんが、それに代わる取組については局内で検討していきたいと思ひます。
吉備委員	わかりやすい形態のプロジェクトを希望しています。単位PTA会長ですら内容を理解されていない方がいらっしゃるようです。市P連や区P連に対して、家庭にお願いしたい項目のみでも取り出して説明したらどうかと思ひます。協力依頼してみたいはいかがでしょうか。
池尻教育政策推進室長	方面別教育事務所も開設されましたので、今後検討していきたいと思ひます。
中里委員	私からも願ひします。
今田委員長	このような評価を行う上で難しいところは、定量的に評価を行えるものと、定性的に見るものがあります。評価を求められていますから、きちんとした評価をしなければなりません、項目によっては評価の仕方が難しいものもあります。評価の中でD評価をつけたところには、ある種の反省事項のようなものを入れた方がわかりやすい気がいたします。 9ページの目標3では、「学校を開きます」とありますが、先日開校した早渕中学校を見学した際に感じましたことは、教室のドアのガラスが磨りガラスになっていて、後ろ扉の一部だけが透明なガラスになっていて、教室の中の様子を外からなかなか見えないことでした。外から様子が見えるようにはならないものではないでしょうか。
内田担当理事	やはり学校を設計していく際の考え方、新設でなくても、改修の際に変えることができると思ひますが、例えば横浜サイエンスフロンティア高校では、非常にガラスの部分が多いのですが、廊下から授業の様子が見えるようにという発想で設計をしていただきましたし、本町小学校のようにオープンスクールという壁のない発想で設計された学校もあります。校舎を設計する際の発想の違いだと思ひます。中学校では教室を更衣室としても使いますので、そのような点を考慮した設計になったのだと思ひます。委員長のご指摘の点につきましては、施設を改修や新設の際では教育委員会で議論していただき、設計の発想に反映していくことは可能であると思ひます。
今田委員長	他にご質問等がなければ、次に、「横浜サイエンスフロンティア高校の「スーパーサイエンスハイスクール」指定」について説明をお願いします。
漆間指導部長 木田高校教育課長	【「横浜サイエンスフロンティア高校の「スーパーサイエンスハイスクール」指定」について説明】
今田委員長	所管課から説明が終了しましたが、ご質問等ございますか。

野木委員	理数科を希望するお子さんが減っていることを危惧しておりますが、今回応募してきた学校数はどのような状況でしょうか。また、支援の内容はどのようなものでしょうか。また、審査基準はどのようなものですか。
木田高校教育課長	今回71校応募があり、内訳は国立4校、公立51校、私立16校です。指定された学校はそのうち19校です。予算は各校のプログラムによっても異なりますが、予算額は21年度が14億8400万円、22年度は20億6500万円です。 審査は、5分のプレゼンテーションと20分のヒアリングです。基準についてはわかりません。
野木委員	応募校数の推移はどうですか。
内田担当理事	平成14年度は26校指定しましたが、現在では、125校になっています。理数離れを心配してこのようなプログラムができたわけですが、県立柏陽高校では、5年で計5000万円が国から交付されました。財政状況が厳しい中で、国の予算などもいただきながら、進学校である普通科の学校でも指定を受けている学校が多いです。また、横浜サイエンスフロンティア高校のように、開校当初の指定はレアケースです。
野木委員	横浜市立の高校では初めての指定ですか。
内田担当理事	はい、そうです。
今田委員長	他にご質問等がなければ、議事日程に従い、報告案件に移ります。教委報第1号議案「横浜市立高等学校授業料等徴収条例の一部改正等に関する臨時代理報告」について説明をお願いします。
漆間指導部長 木田高校教育課長	【教委報第1号議案「横浜市立高等学校授業料等徴収条例の一部改正等に関する臨時代理報告」について説明】
今田委員長	所管課から説明が終了しましたが、ご質問等ございますか。特にご質問等なければ、本件については承認してよろしいですか。
各委員	<了 承>
今田委員長	それでは、承認します。 次に、教委報第2号議案「横浜市立図書館規則等の一部改正に関する臨時代理報告」について説明をお願いします。
五島中央図書館担当部長 大本企画運営課長	【教委報第2号議案「横浜市立図書館規則等の一部改正に関する臨時代理報告」について説明】

今田委員長	所管課から説明が終了しましたが、ご質問等ございますか。 特にご質問等なければ、本件については承認してよろしいですか。
各委員	<了 承>
今田委員長	それでは、承認します。 次に、教委報第3号議案「横浜市教育委員会職員の勤務時間等に関する規程の一部改正に関する臨時代理報告」について説明をお願いします。
小野職員課長	【教委報第3号議案「横浜市教育委員会職員の勤務時間等に関する規程の一部改正に関する臨時代理報告」について説明】
今田委員長	所管課から説明が終了しましたが、ご質問等ございますか。 特にご質問等なければ、本件については承認してよろしいですか。
各委員	<了 承>
今田委員長	それでは、承認します。 次に、教委報第4号議案「県費負担学校職員の勤務時間の割振り等に関する規程の一部改正に関する臨時代理報告」について説明をお願いします。
伊藤教職員人事部長 古橋教職員厚生課長	【教委報第4号議案「県費負担学校職員の勤務時間の割振り等に関する規程の一部改正に関する臨時代理報告」について説明】
今田委員長	所管課から説明が終了しましたが、ご質問等ございますか。 特にご質問等なければ、本件については承認してよろしいですか。
各委員	<了 承>
今田委員長	それでは、承認します。 次に、議事日程に従い、審議案件に移ります。教委第2号議案「横浜市立小学校及び横浜市立中学校の通学区域並びに就学すべき学校の指定に関する規則の一部改正」について説明をお願いします。
小野施設部長 上田学校計画課長	【教委第2号議案「横浜市立小学校及び横浜市立中学校の通学区域並びに就学すべき学校の指定に関する規則の一部改正」について説明】
今田委員長	所管課から、説明が終了しましたが、ご質問等ございますか。

中里委員 今後も統合は行われるものだと思いますが、統合する学校のうち、規模の小さい学校側で特に高学年の児童のストレスがあると聞いています。学校規模が小規模から大規模になるわけですので、その変化にストレスを感じるお子さんもいるのだと思います。スクールカウンセラーの配置など、保護者や子どもに対する配慮をお願いします。

漆間指導部長 ご指摘の件につきましては、聞いております。小さい集団に慣れているお子さんが変化に戸惑いを感じているようです。方面別教育事務所と連携を図りながら指導主事を中心にきめ細かい対応をまいります。

小野施設部長 統合を行う際、教員につきましては、できるだけ両校の教員をそのまま配置するように配慮しております。

今田委員長 他にご質問等なければ、原案のとおり、承認してよろしいでしょうか。

各委員 <了 承>

今田委員長 それでは、原案のとおり承認します。
本日の審議案件は以上です。その他、委員の皆さんから何かございますか。
特にご発言等なければ、事務局に確認ですが、何か報告事項はありますか。

高橋総務課長 3月23日、教科書問題を考える横浜市民の会から、「公立学校用教科書の採択について」請願書が提出されました。本請願書につきましては、事務局で調整のうえ、次回以降にお諮りしたいと思います。
次回の教育委員会臨時会については、4月27日、火曜日の午前10時から開催いたしますので、よろしくをお願いします。

今田委員長 皆さん、よろしいでしょうか。それでは、次回の教育委員会臨時会は4月27日、火曜日の午前10時から開催することとします。これで、本日の教育委員会定例会を閉会といたします。
[閉会時刻：午前11時10分]